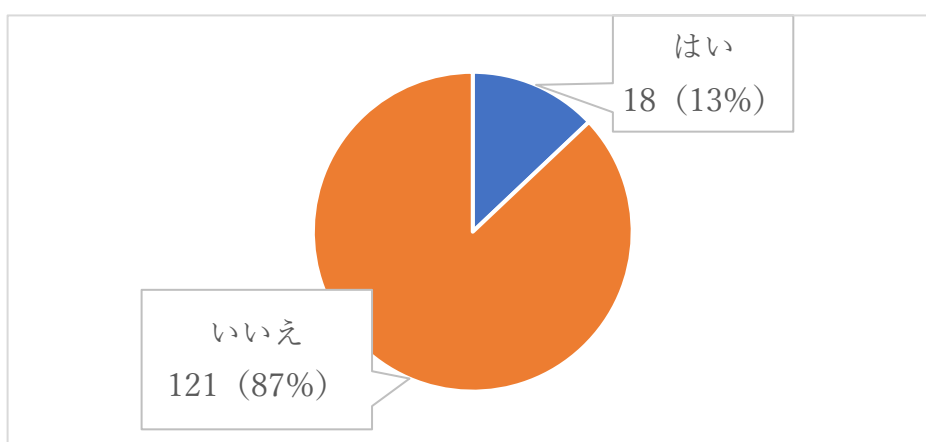
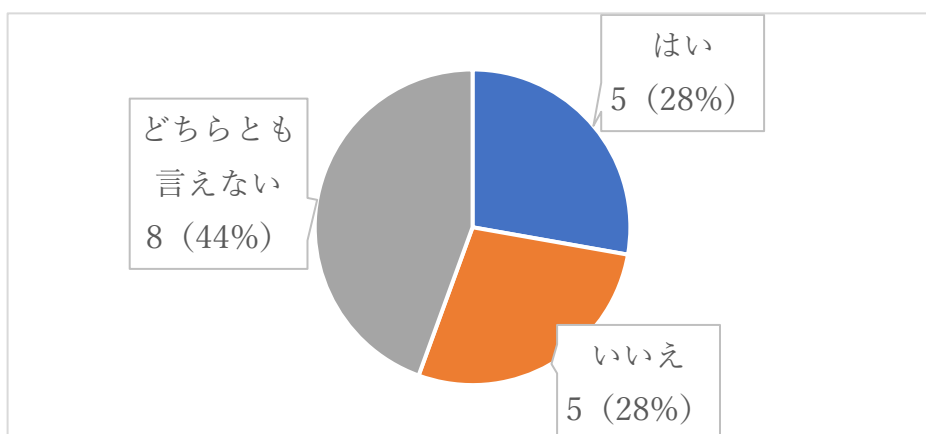


COVID-19 第3波流行期におけるNPPVおよび高流量鼻カニューラ酸素療法（ハイフローセラピー）の使用についてのアンケート（2回目：回答期間2021年2月3日～24日）結果
回答は全部で157施設よりいただきましたが、そのうち無効、重複を除く139施設の回答をお示します。（2020年6月の1回目は172施設からの回答で156施設分を解析）
ご協力ありがとうございました。

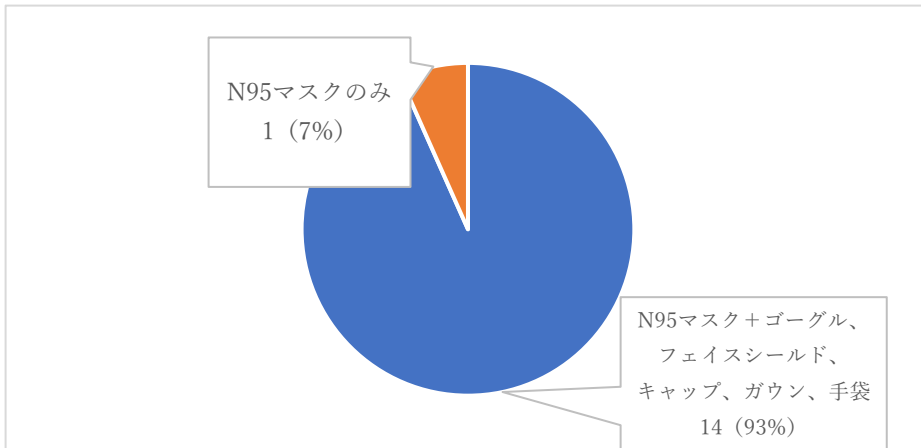
1. COVID-19（疑い例を含む）においてNPPV(CPAPを除くBilevel PAP)を使用したことはありますか？（回答数139施設）



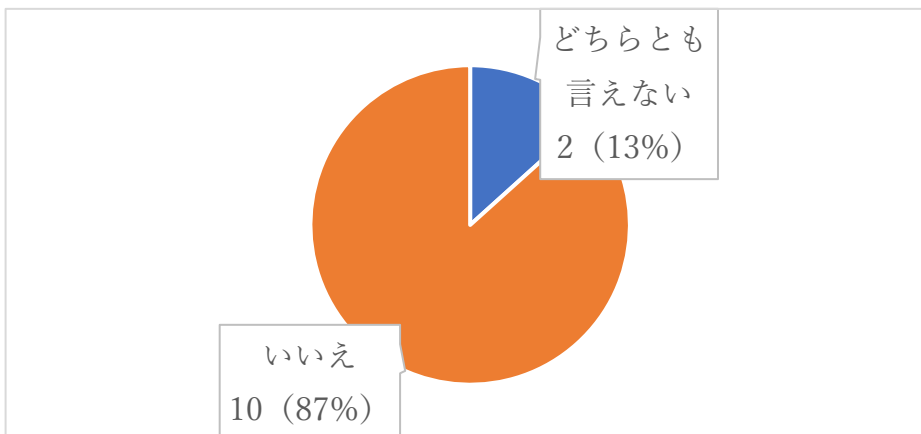
2. (1で「はい」を選んだ施設のみ) NPPV (Bilevel PAP) は COVID-19 (疑い例を含む) の治療手段として有効な印象がありましたか？（回答数18施設）



3. (1で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19 (疑い例を含む) にNPPV (Bilevel PAP) を使用した際、医療者はどのような感染対策を行っていますか？（回答数15施設）



4. (1で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19 (疑い例を含む) に NPPV (Bilevel PAP) を使用した際、医療者に感染した事例 (もしくはその疑い) はありましたか? (回答数 12 施設)

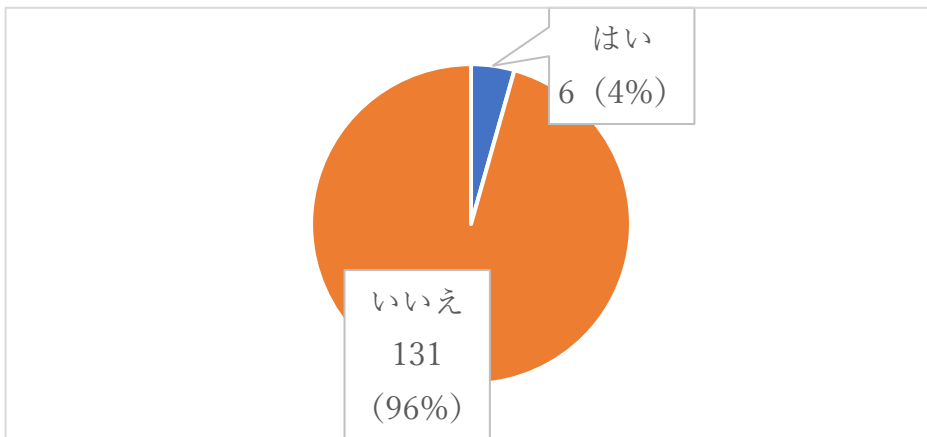


5. (1で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19 (疑い例を含む) に NPPV (Bilevel PAP) を使用する際に注意していることを教えてください。(回答数 12 施設)

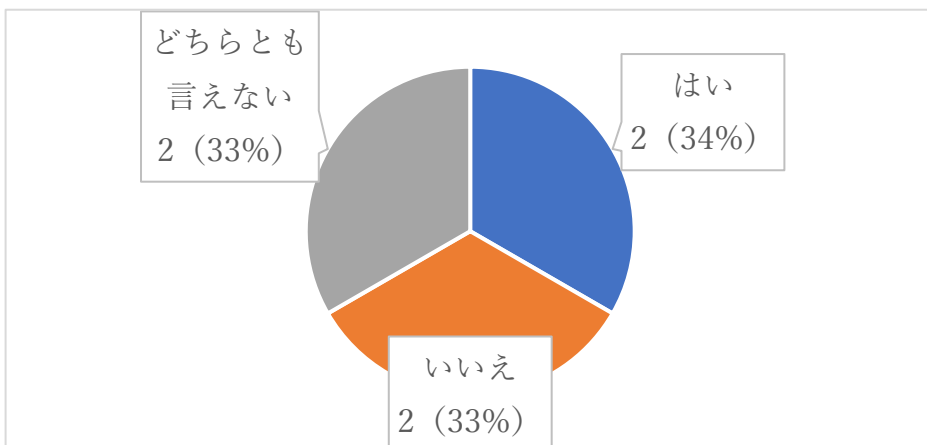
- ・経験があるかといわれたらある、というだけで実際には原則 NPPV は使用しないというのが院内ルールです
- ・個室管理。
- ・閉鎖回路、陰圧管理、慢性呼吸不全患者 (在宅使用者) のみに限定
- ・当院は重症例のみで、陰圧化した ICU で診療しており、エアロゾル感染対策をそのまま施行。
- ・陰圧個室で N95 着用
- ・少なくとも個室 (可能なら陰圧室)、感染対策を徹底、マスク回路は通常通り

- ・感染対策の周知、できる限りの回避
- ・個室での対応とする
- ・COVID-19 重症患者用の個室で使用
- ・陰圧部屋
- ・空気感染対策とする
- ・室内の換気、個室

6. COVID-19（疑い例を含む）において CPAP（OSAS 治療目的ではなく急性呼吸不全目的で）を使用したことはありますか？（回答数 137 施設）

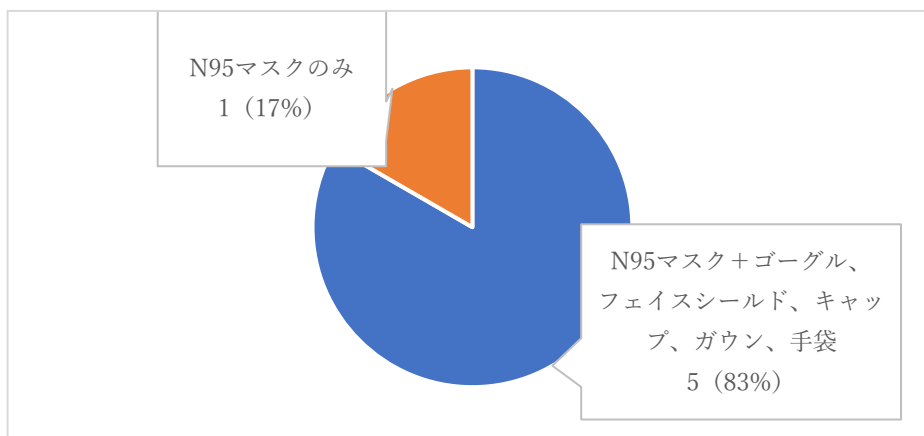


7. (6 で「はい」を選んだ施設のみ)CPAP（急性呼吸不全治療用）は COVID-19（疑い例を含む）の治療手段として有効な印象がありましたか？（回答数 6 施設）

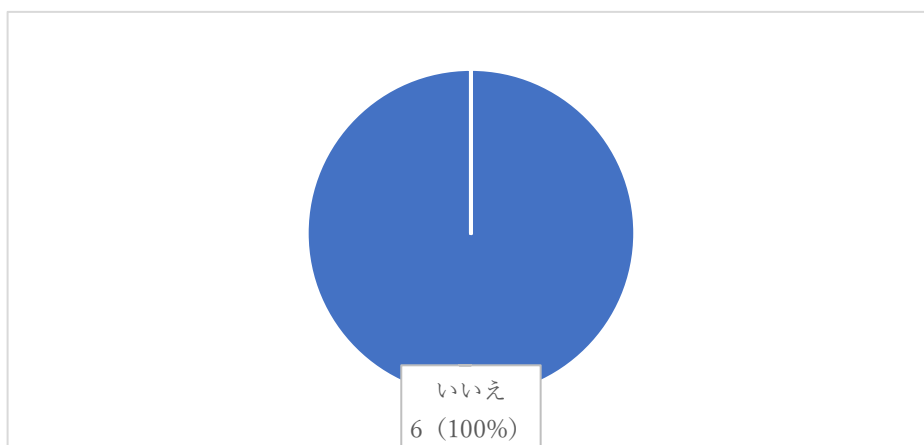


8. (6 で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19（疑い例を含む）に CPAP（急性呼吸不全用）を

使用した際、医療者はどのような感染対策を行っていますか？（回答数 6 施設）



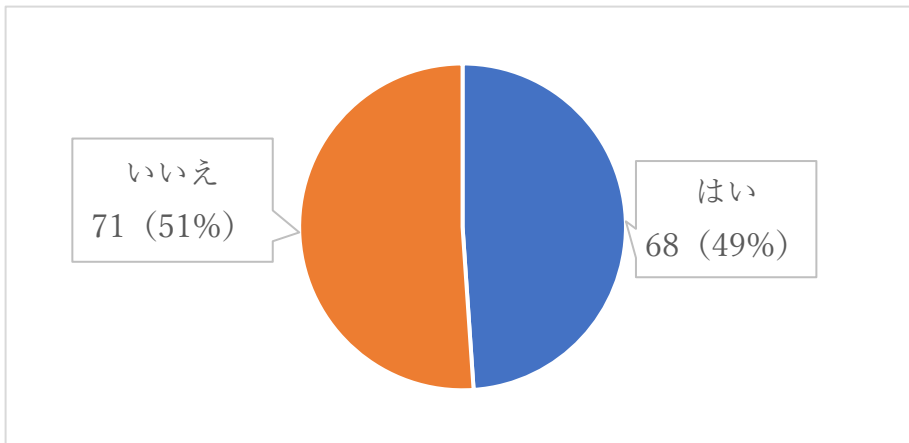
9. (6 で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19（疑い例を含む）に CPAP（急性呼吸不全用）を使用した際、医療者に感染した事例（もしくはその疑い）はありましたか？（回答数 6 施設）



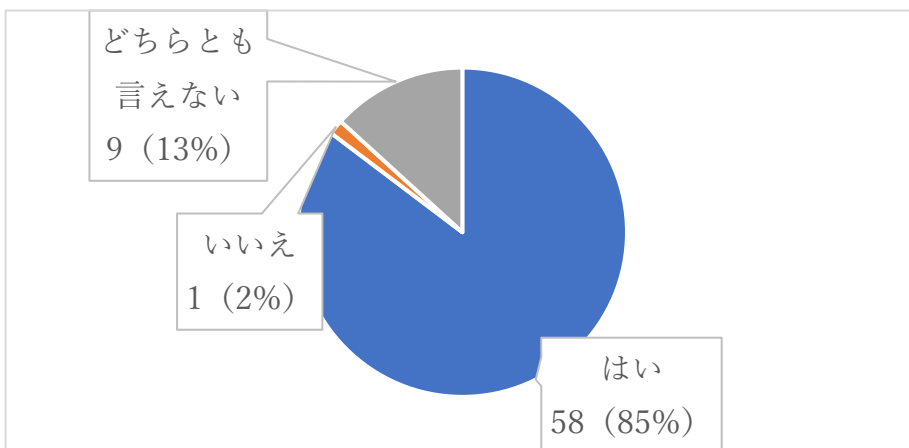
10. (6 で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19（疑い例を含む）に CPAP（急性呼吸不全用）を使用する際に注意していることを教えてください。（回答数 4 施設）

- ・ 陰圧個室で N95 着用
- ・ 特にない
- ・ 陰圧室を使用する
- ・ 換気、個室

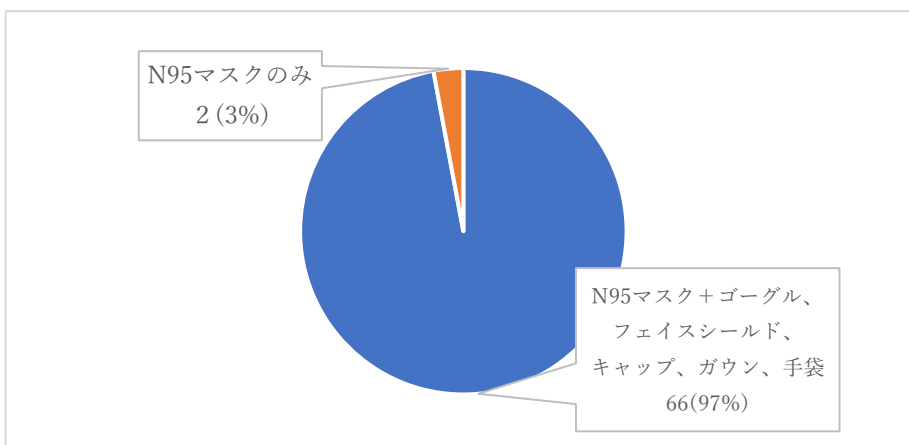
11. COVID-19（疑い例を含む）において HFNC を使用したことはありますか？（回答数 139 施設）



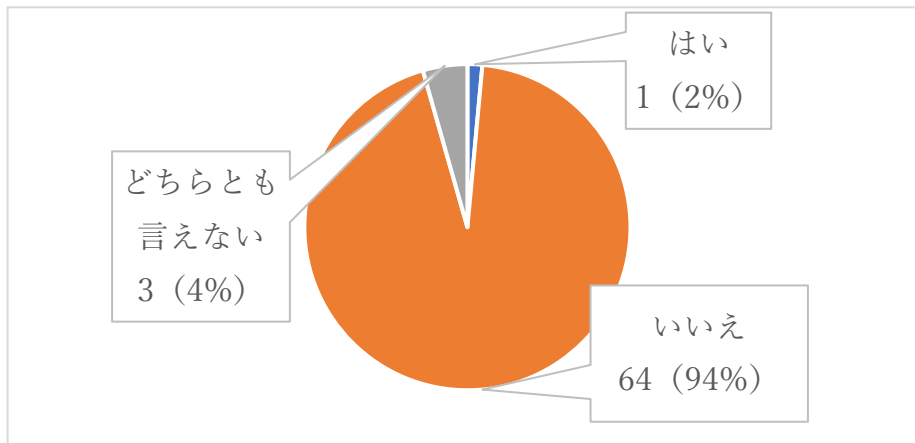
12. (11で「はい」を選んだ施設のみ) HFNCはCOVID-19（疑い例を含む）の治療手段として有効な印象がありましたか？（回答数 68 施設）



13. (11で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19（疑い例を含む）にHFNCを使用した際、医療者はどのような感染対策を行っていますか？（回答数 68 施設）



14. (11 で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19 (疑い例を含む) に HFNC を使用した際、医療者に感染した事例 (もしくはその疑い) はありましたか? (回答数 68 施設)

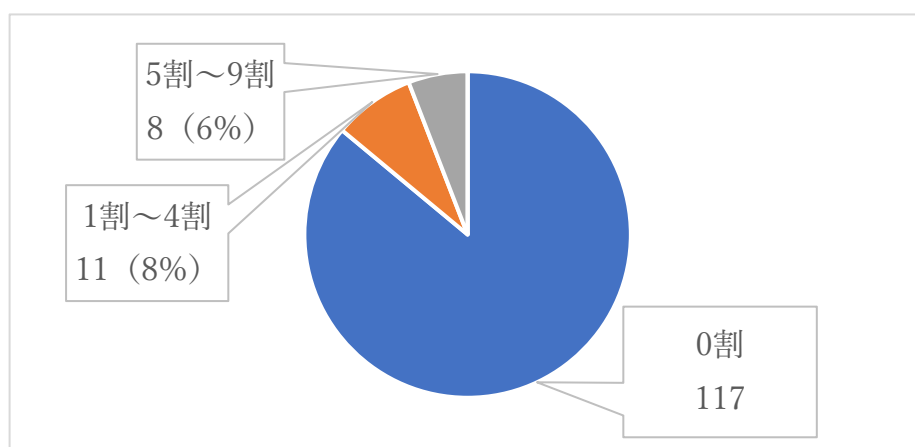


15. (11 で「はい」を選んだ施設のみ) COVID-19 (疑い例を含む) に HFNC を使用する際に注意していることを教えてください。 (回答数 62 施設)

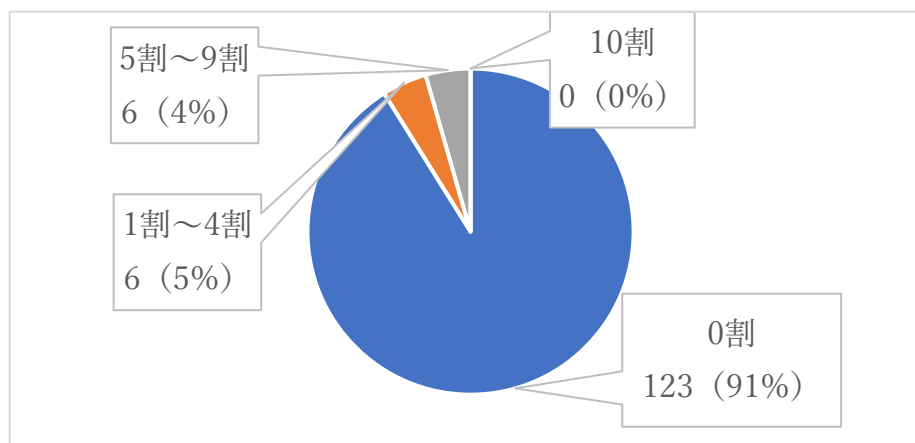
- ・ 陰圧室、個室での使用
- ・ 部屋の換気 (陰圧は無いので、窓開け、送風機、空気清浄機など使用、医療者に風向きが来ない工夫)
- ・ 患者本人はサージカルマスク着用
- ・ N95 着用
- ・ HFNC の使用の有無で特別にルール変更はないです。COVID-19 患者のエアロゾル発生が懸念される際の対応に準じて対応している
- ・ 陰圧個室で流量 35L/min 以下でサージカルマスク着用させてます。感染性があるとされる発症 10 日以内はなるべく避けてます
- ・ 最小限の滞在時間にする、など。患者のマスク着用は困難なことが多かったです。
- ・ 陰圧室内で、感染防止クリーンベッド (ヘパフィルター装備のビニルテント) で使用しているので、エアロゾルの飛散は皆無の状態です。安全に使用できる、画期的な方法である。
- ・ 流量は 30 L /分で開始し最大 40 L /分まで。
- ・ 挿管前のファーストラインとして使用、HFNC でも悪化する場合に挿管。5 L / 分以上の酸素投与を行っても目標 SpO₂ 93% 以上) を保てない、もしくは呼吸回数 25 回 /分以上。陰圧個室で使用。機種は Opti flow ネーザルハイフローシステム。サージカルマスク併用。総流量は 30-40L/分

- ・フルコードのみ、患者もサージカルマスク装着、隔離室、AIRVO（COVID 専用）
- ・ICU 以外のコロナ病棟での使用は禁止としています。
- ・可能なら陰圧室で使用（絶対的ではない）、通常の酸素吸入で酸素化が十分得られずかつ挿管を望まないケースに適応、40L/minm までの流量で使用、患者にサージカルマスク併用

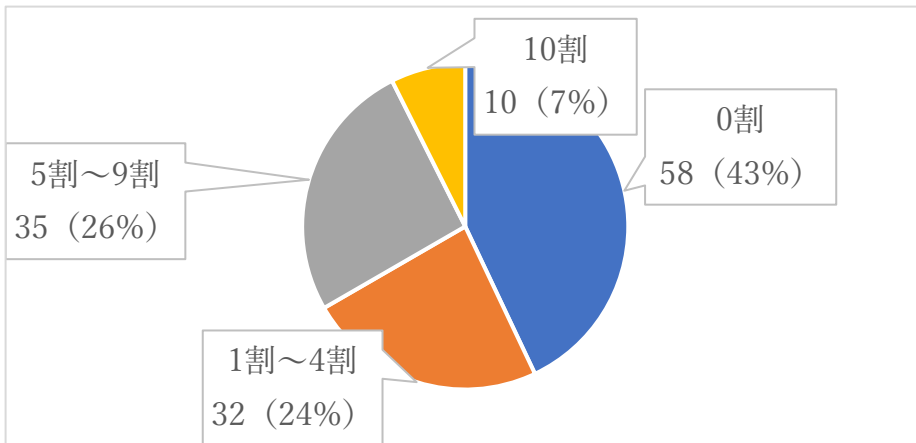
16. COVID-19（疑い例を含む）において酸素療法のみでは管理が困難な場合、NPPV（Bilevel PAP）をどの程度の割合で使用していますか？（回答数 136 施設）



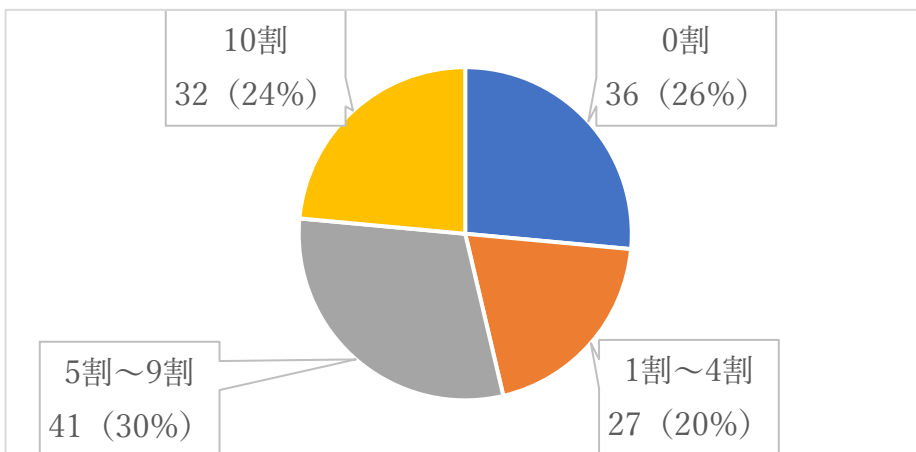
17. COVID-19（疑い例を含む）において酸素療法のみでは管理が困難な場合、CPAP（急性呼吸不全用）をどの程度の割合で使用していますか？（回答数 135 施設）



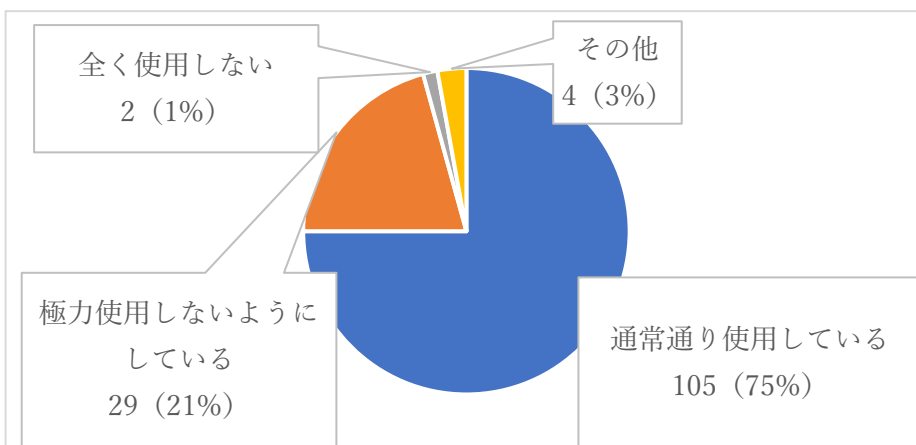
18. COVID-19（疑い例を含む）において酸素療法のみでは管理が困難な場合、HFNC をどの程度の割合で使用していますか？（回答数 135 施設）



19. COVID-19（疑い例を含む）において酸素療法のみでは管理が困難な場合、挿管人工呼吸をどの程度の割合で使用していますか？（回答数 136 施設）



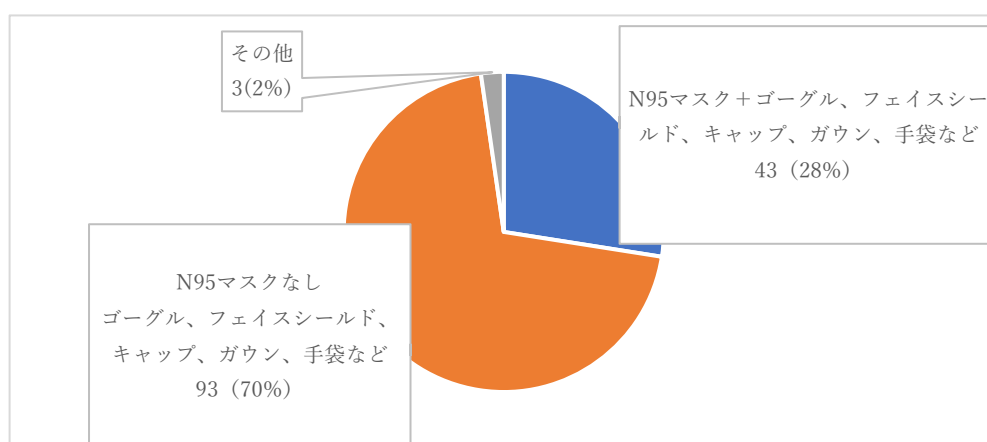
20. COVID-19 を積極的には疑わない呼吸不全の症例に対して、NPPV（Bilevel PAP）や CPAP（急性呼吸不全用）、HFNC を使用していますか？（回答数 140 施設）



その他

- ・ LAMP など確認した上で、COVID19 の可能性が低い症例では状況によって使用しています。
- ・ PCR 陰性確認後使用
- ・ COVID-19 感染が否定された患者、個室で使用

21. COVID-19 を積極的には疑わない呼吸不全の症例に、NPPV (Bilevel PAP) や CPAP (急性呼吸不全用)、HFNC を使用する際どのような感染対策を行っていますか？ (回答数 139 施設)



その他

- ・ 当院では、全例 PCR 実施して否定しています。
- ・ 否定されるまでは感染対策を行います。否定されれば通常通りに対応
- ・ COVID-19 抗原陰性を確認しているので、特別な対策なしです。

22. COVID-19 を積極的には疑わない呼吸不全の症例に、NPPV (Bilevel PAP) や CPAP (急性呼吸不全用)、HFNC を使用する際に注意していることを教えてください。(回答数 90 施設)

- ・ 抗原検査 1 回陰性+PCR 検査 1 (～2: COVID-19 疑いもある場合) 回陰性で隔離解除後は自由に使用できます。
- ・ 通常通りに使用している。
- ・ 使用前に必ず PCR で陰性を確認している
- ・ 個室管理
- ・ 標準予防策の徹底。COVID-19 否定できない場合には、N95、アイシールド、手袋、ガウン装着

- ・看護師は全てフル PPE で対応、医師は二回陰性を確認し、可能性が低ければ通常対応
- ・コロナ抗原検査施行。機器の使用に関しては特に通常と同様
- ・挿管人工呼吸管理のタイミングを逸しないこと